

〔科目名〕 人事管理論 I	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 経営学科基幹科目
〔担当者〕 中川宗人 NAKAGAWA Muneto	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業内で提示する 場所: 505 研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 人事管理は企業の経営目標達成に貢献するために、ヒトが担う労働・サービスをより良く発揮できるように働きかけます。社会・経済の変化に伴って企業経営や人々の働き方も多様化し、人事管理のあり方も複雑になってきています。学問としての人事管理論は、こうした現代の人事管理を科学的に調査・研究し、望ましい人事管理のあり方を構想しようとする分野です。この人事管理論 I では、指定の教科書を用いて人事管理論の基礎的な内容を扱います。 事前に教科書の指定の範囲を読んでくることを前提として進めます。 また教科書の内容をふまえたクエスチョンに対して回答してもらうこともあります。 初回の授業でも説明しますが、遅刻・途中退室・授業中の私語は厳禁です。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか〕 人事管理は経営を構成する一機能ですが、労働時間や賃金といった事項を扱うことから、何らかの組織で働く人すべてにとって身近な科目です。また現在の人事管理に関する戦略は、経営戦略とも密接に関わり、企業の将来をますます左右するようになっていきます。例えば、現在の重要な経営資源である情報は、企業で働くヒトが重要な担い手となっています。人事管理論は、労働条件といった身近な事柄だけでなく、企業の行動や経営学についてより深く理解する手がかりとなります。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <ul style="list-style-type: none"> ・企業経営における人事管理の基本的な機能について説明することができる。 ・日本企業の人事管理制度の特徴について正確に説明することができる。 ・人事管理の個別の事項について、基本的な知識を説明することができる。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <ul style="list-style-type: none"> ・しゃべるスピードや音量についての希望が多かったので、聞き取りやすい説明を心がけます。 ・スライドや資料はできるだけ事前にオンラインで配布するように心がけます。 		
〔教科書〕 平野光俊・江夏幾多郎(2018)『人事管理』有斐閣		
〔指定図書〕 佐口和郎(2018)『雇用システム論』有斐閣		
〔参考書〕 上林憲雄・平野光俊編(2019)『日本の人事システム』同文館出版		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 不定期の理解度確認の課題と期末テストによって行う		
〔評価の基準及びスケール〕 学生便覧の評価基準に準拠します。 A:80点以上 B:70点以上		

C:60点以上
D:50点以上
F:50点未満

【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】
教科書の指定の範囲を講読してくることを前提に授業を進めますので、事前の予習を心がけてください。
日頃から雇用・労働に関するニュースに関心を持ち、授業で得た知識を活かして疑問を発する習慣を養ってください。

【実務経歴】
該当なし

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): 人事管理とは 内 容: (1)授業の進め方、(2)日本企業の人事管理、(3)人事管理の歴史と人的資源管理論、(4)人事管理等という用語について 教科書・指定図書 教科書・序章
第2回	テーマ(何を学ぶか): 組織をつくる 内 容: (1)組織をつくる人事管理、(2)組織活動への従業員の参加、(3)雇用システムの変化、(4)企業の絶えざる変化に即した人事管理 教科書・指定図書 教科書・1章
第3回	テーマ(何を学ぶか): 働くということ 内 容: (1)なぜ人は働くのか、(2)モチベーションの管理、(3)キャリアをつくる、(4)環境が変化する中で働き続ける 教科書・指定図書 教科書・2章
第4回	テーマ(何を学ぶか): システムとしての人事管理 内 容: (1)人事管理の成り立ち、(2)外的整合性、(3)内的整合性、(4)人事管理のシステム性を高める 教科書・指定図書 教科書・3章
第5回	テーマ(何を学ぶか): 社員格付け制度 内 容: (1)社員格付け制度とは何か、(2)職務遂行能力と職務価値、(3)日本企業と社員格付制度、(4)社員格付け制度を職場に根づかせる 教科書・指定図書 教科書・4章
第6回	テーマ(何を学ぶか): 採用と退出 内 容: (1)雇用関係の入口と出口、(2)従業員を採用する基準と手法、(3)日本企業の採用活動を取り巻く問題、(4)よりよりマッチングのための取り組み 教科書・指定図書 教科書・5章
第7回	テーマ(何を学ぶか): 配置 内 容: (1)配置とは、(2)はじめての仕事、(3)配置転換、(4)昇進管理、(5)配置・異動の個別管理に向けて 教科書・指定図書 教科書・6章
第8回	テーマ(何を学ぶか): 評価と報酬 内 容: (1)評価・報酬とは何か、(2)日本企業における評価と報酬、(3)従業員評価の困難さ、(4)評価・報酬制度を現場になじませる 教科書・指定図書 教科書・7章
第9回	テーマ(何を学ぶか): 人材育成 内 容: (1)人材育成とは何か、(2)人が「育つ」ということ、(3)人を「育てる」手法、(4)これからの人材育成、(5)エンプロイアビリティ重視の学習環境 教科書・指定図書 教科書・8章

第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 労使関係</p> <p>内 容: (1)従業員の「活用」と「尊重」、(2)適切な労働環境の設定、(3)企業による社会保障の補完、(4)従業員1人1人の働きがよいに対する支援</p> <p>教科書・指定図書 教科書・9章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 非正社員の基幹化</p> <p>内 容: (1)非正社員とは、(2)非正社員の量的基幹化と質的基幹化、(3)雇用ポートフォリオの再構築、(4)雇用区分の多元化と均等・均衡</p> <p>教科書・指定図書 教科書・10章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 女性の活躍推進</p> <p>内 容: (1)女性の活躍と現状の課題、(2)雇用における差別の理論、(3)逆選択と予言の自己成就の悪循環、(4)バタナリズムからの脱却を目指して</p> <p>教科書・指定図書 教科書・11章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): ワーク・ライフ・バランスと働き方改革</p> <p>内 容: (1)ワーク・ライフ・バランスとは何か、(2)日本の労働時間の現状、(3)ワーク・ライフ・バランスの新しい発想、(4)働き方改革</p> <p>教科書・指定図書 教科書・12章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 高齢者雇用</p> <p>内 容: (1)日本の労働市場の高齢化、(2)年功パラダイムの問題点、(3)高齢者の人事管理改革の方向性、(4)生涯現役社会の実現に向けて</p> <p>教科書・指定図書 教科書・13章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): グローバル経営と国際的人事管理</p> <p>内 容: (1)グローバル経営と国際人事管理とは何か、(2)ローカル人材の経営職登用と本社の「内なる国際化」、(3)国際人事管理の課題 (4)日本型国際的人事管理の構築に向けて</p> <p>教科書・指定図書 教科書・14章</p>
試験	